

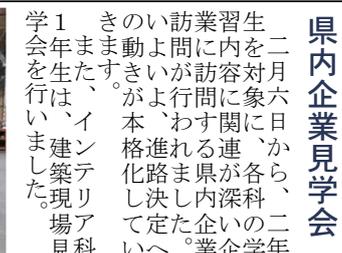
集工新聞

学校活動
紹介通信
2020
2月号



修学旅行

1月28日 コース別研修(都内) 1月29日 スキー研修(新潟・上越)
1月30日 東京ディズニーリゾート 1月31日 科別研修(都内・横浜)



学校行事あれこれ
令和元年度 課題研究発表会
一月二十日から各学科の三年生による課題研究発表会が行われました。



説明を聞くインテリア科1年生

県内企業見学会

二月六日から、二年生を対象に、各科の学習内容に関連が深い企業訪問が、各学科の先生が先導し、進路決定への動機が本格化してまいります。また、インテリア科1年生は、建築現場見学会を行いました。

生徒のことは「生徒会長を務めて」

電子機械科三年 濱田源太

「なぜ、自分だったのか」
私が生徒会長に選ばれた時にそう思った。先輩方は、約一ヶ月ほど悩んで決めたと言っていたが、私には決断できなかった。副会長を希望した。部活動では、主将を務めていたからだ。そもそも、生徒会に所属した理由も就職に役立つと思ったからで、単工業高校に貢献しようと思ったからではなかった。

しかし、生徒会長になってからの活動では、一つ一つの行事に全力で取り組んだ。自分でも不思議だったが、行事を成功させるために必死だった。一番苦労した行事は、文化祭だ。生徒全員分の資料作成、舞台発表のリハーサル、先生方との打ち合わせなど、他の行事と比べものにならない量の仕事だった。資料を印刷することも時間と労力を費やし、とても苦労した。毎朝SHRで配られるプリントも、授業で配られるプリントも、作っている方が苦労していることを考えられるようになった。自分たちが中心になって文化祭を成功させた時の達成感は、素晴らしいものだった。実際に自分たちが次の会長や役員を考えた時はとても悩み、決めた時も、本当に正しいのか不安ばかりだった。しかし、今の生徒会は、全力で行事に取り組み、より良い単工業高校を目指し、一生懸命頑張っている。自分たちの選択は、間違っていないかと嬉しく思える。これから、辛い苦しいことや、うまくいかないこともあると思うが、生徒会役員全員で協力し、団結して頑張っていこうと思う。

私は、生徒会長になって、本当に良かった。生徒会長でなければ経験できないようなことをたくさん経験することができた。今は、生徒会室に行けないことを少し寂しく思う。責任の重さや協調性の大切さ、感謝の気持ちを忘れないこと、コミュニケーション能力が学んだ全ての事が、これから社会に出て生きてくると思う。単工業高校の生徒会長だったということを誇りを持ち、これから頑張っていきたい。
信頼できる先輩たちにこれからの単工業高校の未来を託し、旅立とうと思う。

3月2日は、第72回卒業式です。3年生は学び舎を巣立つ時が、近づいてきました。寂しさと期待が膨らむ時期です。新生活に向けて、この時期にしっかり準備をしましょう。

学校の旬を伝える
集工新聞

制作：教務部広報渉外係